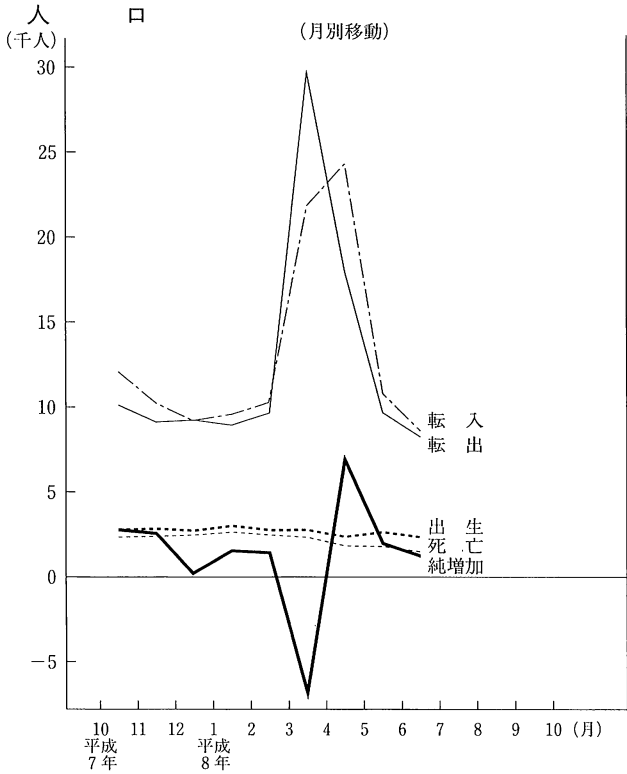
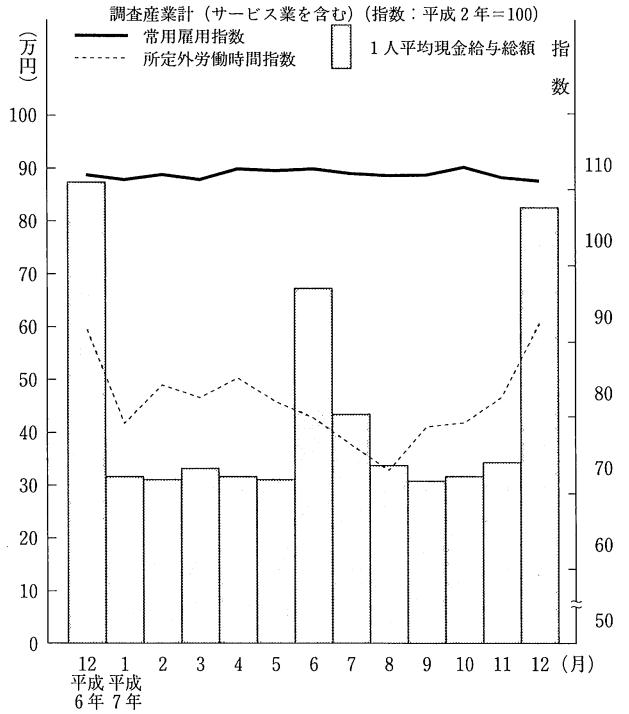


● 今月の主な動き

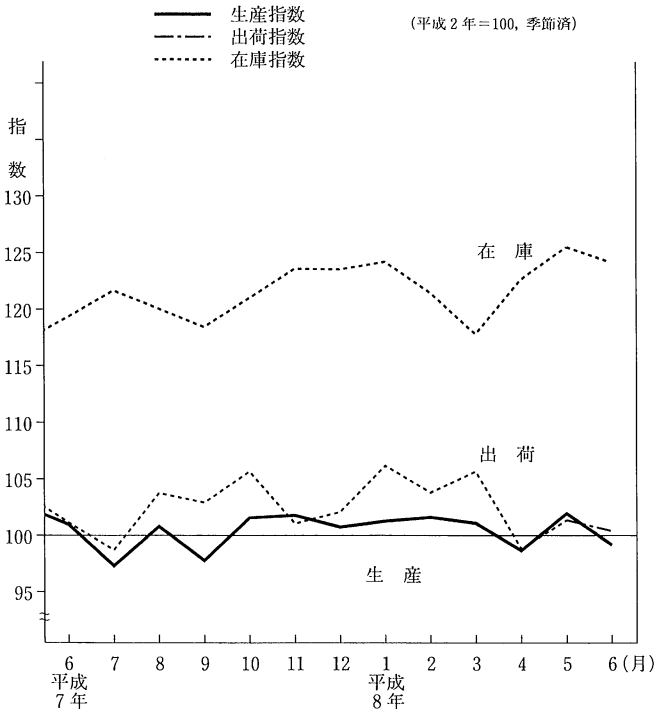
今月の主な動き



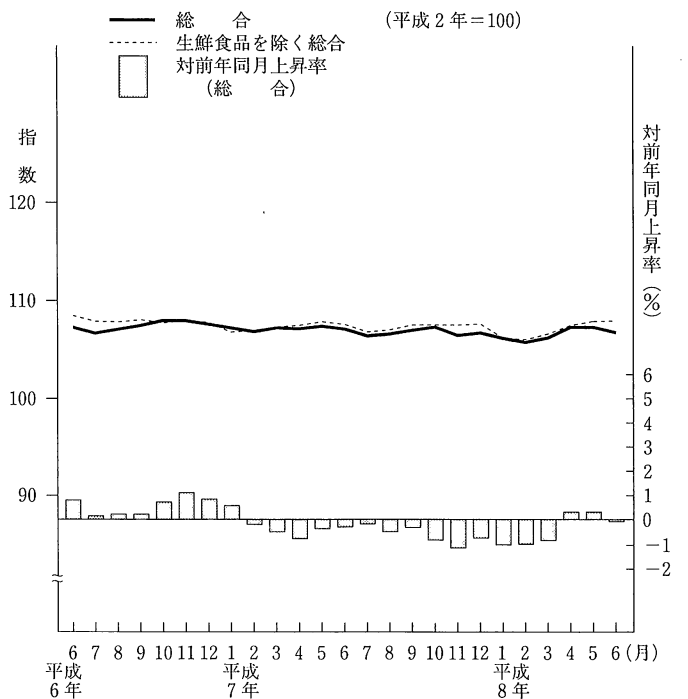
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口（7月1日）

本県の人口は、6月中に1,217人増加し、7月1日現在で、2,964,462人（男1,480,906人、女1,483,556人）となった。

内訳は、自然動態で、861人（出生2,334人、死亡1,473人）増加し、社会動態で、356人（転入8,591人、転出8,235人）増加した。前年同月と比べると2,790人（0.1%）の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市35町村、減少が6市26町村、増減なしが4町村である。

世帯数についても6月中に1,072世帯増加し、935,525世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（12月）

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で821,860円、対前年同月比5.7%減、このうち、きままって支給する給与は305,132円、対前年同月比もちあいであった。また、このうち、所定内給与は275,232円、対前年同月比0.3%減であり、超過労働給与は29,900円、対前年同月比3.3%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.5%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。平成8年1月分の速報値は、平成8年抽出替えに伴うギャップを修正した後、公表の予定です。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で165.3時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は149.4時間、対前年同月比0.5%増、所定外労働時間は、15.9時間、対前年同月比もちあいであった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.2%減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（6月）

本県における平成8年6月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が98.8、出荷が100.5、在庫が123.2で、前月比は、生産が3.2%の低下、出荷が1.1%の低下、在庫が1.8%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が2.0%の低下、出荷が0.3%の低下、在庫が3.5%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、一般機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、化学工業、繊維工業等が低下した。出荷では、一般機械工業、輸送機械工業、プラスチック製品工業等が上昇し、

化学工業、石油・石炭製品工業、鉱業等が低下した。在庫では、電気機械工業、輸送機械工業、プラスチック製品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、化学工業、食料品・たばこ工業等が低下した。

財別にみると、生産では、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、資本財が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、耐久消費財、建設財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数（6月）

平成8年6月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で107.1（平成2年=100）となり、前月比0.5%の下落、前年同月比0.1%の下落となった。

今月の上がった主な項目……他の光熱2.3%、シャツ・下着1.9%

今月の下がった主な項目……果物10.6%、魚介類4.4%、野菜・海草4.1%

生鮮食品を除く総合は107.8となり、前月比0.1%の下落、前年同月比0.1%の上昇であった。

■費目別指数

（平成2年=100）

区 分	指数	上昇率（%）		区 分	指数	上昇率（%）	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.1	△0.5	△0.1	保 健 医 療	104.2	△0.1	1.3
食 料	103.9	△1.4	△1.1	交 通 通 信	99.1	△0.1	0.2
住 居	118.6	△0.3	1.6	教 育	120.2	0.0	2.9
光熱・水道	101.5	0.1	△0.9	教 養 娯 楽	108.4	△0.5	0.0
家具・家事用品	94.5	0.2	△2.6	諸 雑 費	104.7	△0.3	△0.5
被服及び履物	113.4	0.1	△1.2	生鮮食品を除く総合	107.8	△0.1	0.1